

令和5年度 第2回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立米子白鳳高等学校
開催日時	令和5年10月31日 15時から16時30分
会場	鳥取県立米子白鳳高等学校

(1) 学校長挨拶

(2) 学校目標に対する取り組みについて (教頭)

- ア 社会人講師・学校独自(定通教育充実)事業について 【資料 1】
- イ 進路状況について 【資料 2】
- ウ 生徒支援の取組みについて 【資料 3】
- エ 自己評価表(中間評価)について 【資料 4】

委員 コミュニケーションを図るためにeスポーツに取り組む学校が出てきているが、米子白鳳高校は取り組む予定はないか。いろいろなルールを決めて取り組むことで、いい影響がでてくることもある。また、ソーシャルスキルの向上についても、こども未来ネットワークと連携して取り組むことができるので検討してみてもどうか。

委員 保育交流の中で、高校生が園児に寄り添う姿勢が前面に出ていて素敵な姿を見させてもらっている。園児も認められたり大事にされたりしているところで自己肯定感につながっていると思う。

委員 コロナが収まって、郷土芸能部の生徒が様々なイベントに小中学校のメンバーとともに出演する機会が増えている。生徒は自分たちの立ち位置を感じ取るようになり、様々な場面での言葉遣いに変化してきている。いろいろな場面を体験させることで、変わっていったらいいと思う。

(3) スクールポリシーについて (教頭) 【資料 5】

委員 自己評価表の方でも学校ビジョンがあるので、努力目標等を連動させたり、簡潔にするのがよいのではないか。キャッチフレーズなどの文言を加えてはどうか。

校長 ユニバーサルデザインを前面に出した県の原案だったので、それを基に作成している。

(4) 教育活動における取組改善のための提言について～特色ある学校運営について～(校長)

【資料 (HP抜粋)】

(5) 取組の改善に向けて～質疑応答～(各委員)

委員 鳥取県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会を見て、生徒が心や生き方について深く考えて発表していて感動した。生徒は静かに傾聴していたし、自分が以前関わった生徒が声をかけてくれて、丁寧な言葉で話すのを見て、生徒の成長も感

じた。また、遅れてきた生徒にそっと声をかける先生もおられたので、米子白鳳高校で大切に育てられていると感じた。

委員 学校運営の取組を聞いて、郷土愛あふれる生徒に育つように教育していると感じている。コミュニケーション能力を高めるために、ソーシャルスキルを全学年に実施できないか。

校長 カリキュラムの変更が必要となり難しい。授業だけでなく教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも連携して、対人関係力の育成に取り組んでいるところである。

委員 米子白鳳高校学校運営協議会委員長から、この地域で高校生をずっと見ているが、本当に良くなっていることを感じ取っていると伝えて欲しいと伝言があった。

校長 年々良くなっていると言われることは教員にとってありがたい話である。先生方にも伝えて今後の励みにさせてもらおう。

(6) その他

- 第3回学校運営協議会 令和6年1月27日(土) 定時制学習発表会に合わせて開催予定
- 定時制課程人権教育公開 LHR 令和5年11月17日(金) 別紙(案内文書)
- 全国コミュニティ・スクール研究大会 令和5年12月15日(金) 別紙(案内文書)